

平成 24 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業

尾ノ内溪谷の周辺整備と景観の保全

尾ノ内溪谷の自然を守る会



事業の目的・内容

尾ノ内溪谷（ふれあい館・吊り橋等）の周辺整備（登山道・遊歩道の整備並びに周辺の緑化推進）等を通じて、溪谷全体の景観の保全及び山林の保護に努める。



今までの活動状況

<平成 24 年度>

以下の活動によって溪谷の環境整備が進み、自然環境が守られ、尾ノ内溪谷を訪れる多くの観光客の皆様が、安心・安全に見学できるような取り組みができた。特に冬期（1～2月）には、氷柱見学に連日大勢の皆様にお出でいただいた。

- ・両神山登山道の整備（山道整地、丸太橋の設置等）
- ・溪谷への林道や遊歩道等周辺の整備
- ・景観保全のための樹木の枝等の伐採及び整地
- ・ふれあい館周辺の環境整備
- ・除草や樹木の選定、管理



これからの活動・行事

両神山登山道の整備を進めるとともに、シャクナゲの育成不足、未開花の対応策を行い、ふれあい館周辺整備と山林の保護に努める。

※平成 25 年度秩父地域森林活用等創出支援事業